

## ●“東海村さん家”の家計簿

村の予算は金額が大きすぎて、実感がわかないかもしれません。そこで、平成28年度一般会計決算を約3000分の1の額に縮小してみました。

⇒ 約700万円の年収での東海村のやりくりがどのようなものかを見てみましょう。



### 収入

他に頼らないお金  
75%

給与 (村税、分担金・負担金、使用料・手数料)	410万円
貯金からの引き出し (繰入金)	46万円
前年度からの繰り越し (繰越金)	31万円
雑収入 (諸収入、財産収入)	51万円
親からの仕送り (地方譲与税、地方交付税、国・県支出金等)	184万円
ローン借入れ (村債)	0円
<b>合 計</b>	<b>722万円</b>

#### 貯金額

463万円

#### ローン残高

(一般会計のみ)

116万円

### 支出

必ず支払うお金  
30%

食費 (人件費)	104万円
医療費、学費 (扶助費)	86万円
ローン返済 (公債費)	24万円
光熱水費・日用品の購入費 (物件費)	108万円
自宅の増改築・修繕 (維持修繕費、普通建設事業費、災害復旧費)	97万円
子どもへの仕送り (繰出金)	93万円
会費、保険、税金、友人への支援 (補助費等)	116万円
貯金 (積立金、投資・出資金、貸付金)	78万円
<b>合 計</b>	<b>706万円</b>



## 現状と今後のポイント

### ■ 収入の75%は「自主財源」

「自主財源」とは、給与(村税など)や貯金からの引き出し(繰入金)など、**他に頼らないお金**のことです。給与は収入全体の57%を占めており、貯金から引き出したお金などと合わせると全体の75%を占めています。

### ■ 支出における「義務的経費」は30%

「義務的経費」とは、食費(人件費)、医療費や学費(扶助費)、ローン返済(公債費)など、**必ず支出しなければならないお金**のことで、全体の30%を占めています。

### ■ やりくり(財政運営)のポイント

「自主財源」のみでは必要経費を賄うことができないため、ローンの借入れ(村債)をしたり、親からの援助(地方譲与税など)を得ながらやりくりしています。現在、貯金は463万円、ローンの残高(一般会計に係るもののみ)は116万円です。

継続的に安定した行政サービスが行えるよう、長期的な財政見通しを立てて計画的に貯蓄を行っています。また支出を平準化するためのローンの活用等も検討しながら、持続可能な財政運営に組んでいます。今後も日用品の購入費(物件費)の節約や計画的な公共施設の維持修繕を行い、無理のない着実な財政運営を目指していきます。